

太郎山山行報告

【山行日】2023年 6月 18(日) 晴れ
【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00
【費 用】マイカー2台 : 2,000円
【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬 飯口、飯野、
植竹、大塚、嶋田、関、藤原ト、藤原フ、吉田
【コースタイム】栃木市運動公園P6:00=
山王峠P7:30/7:50~山王帽子山 8:45/8:55~
ハガタテ分岐 9:40/9:50~小太郎 10:45/10:55
~太郎山 11:25/11:35~小太郎山 12:00/12:35
~山王帽子山 14:00/14:10~山王峠P
14:45/15:00=栃木市運動公園P16:50



山行アンケートで太郎山のリクエストがあり、緑豊かなこの時季に計画した。車2台に分乗し栃木市運動公園を6時に出発し、イロハ坂を経由して山王峠に向かった。光徳牧場手前の駐車場でトイレを済ませ、山王林道を走って登山道近くの路上に車を止める。準備を整えストレッチを行ったら出発し、林道を少し下ると道標が立っている。ここから山道に入り、九十九折れの登山道を登って山王帽子山に向かう。登山道が笹に覆われて歩きにくい、しばらく登るとコメツガ林の中の登りとなる。時折コメツガ林が途切れ、明るく開けた場所から日光白根山の姿を見ることが出来る。傾斜が緩くなると明るく開けた場所に出て、すぐ先の岩の上に山王帽子山の標識が立っている。休憩を取り景色を眺めながら冷たいゼリーや菓子を食べ、山頂での記念写真を撮ったら出発する。山頂からは下りになり、薄暗いシラビソ林の中を鞍部まで下って行く。鞍部から急坂を登り返すとハガタテの頭に出て、以前はハガタテ沢を直登してここに出たが、現在は通行禁止となっている。小休止して水分やアミノバイタルを補給し、これからの急登に備える。ここからはツガやシラビソの樹林帯の登りになるが、所々にコイワカガミやミヤマカタバミの花が見られ疲れを癒してくれる。しばらく登ると岩交じりの急坂を登るようになり、グングン高度を上げると樹間から右方向に男体山を望むようになる。足元にはキバナノコマノツメの可憐な花が出迎えてくれ、急坂を登り切ると小太郎山の山頂に着く。

しを済ませ、山王林道を走って登山道近くの路上に車を止める。準備を整えストレッチを行ったら出発し、林道を少し下ると道標が立っている。ここから山道に入り、九十九折れの登山道を登って山王帽子山に向かう。登山道が笹に覆われて歩きにくい、しばらく登るとコメツガ林の中の登りとなる。時折コメツガ林が途切れ、明るく開けた場所から日光白根山の姿を見ることが出来る。傾斜が緩くなると明るく開けた場所に出て、すぐ先の岩の上に山王帽子山の標識が立っている。休憩を取り景色を眺



小太郎山からの眺望は素晴らしく、南に大きく男体山が聳え東側に掛けて大真名子山、小真名子山、女峰山と連なり、南西方向には眼下に戦場ヶ原、西方には日光白根山が望める。我々だけで360



度の大パノラマを独占し、至福のひと時を過ごすことが出来た。ところがU竹さんが足の不調を訴えて、太郎山まで登る自信が無いのでここで待つと言う。私とU竹さんはここで待つことにして、SLに皆さんを太郎山まで案内してもらう。小太郎山から下ると岩場のヤセ尾根を慎重に通過し、太郎山頂まで皆さんが到達するのを小太郎山から見守った。皆さん太郎山頂で眺望を楽しみ、記念写真を撮ったら下山開始する。皆さんが下山開始したのを小太郎山から

確認し、しばらく待つと皆さんの声が聞こえ小太郎山に戻って来た。お湯を沸かして昼食の準備し、皆さんが持ち寄ったお惣菜を皿に分けてもらう。それぞれがカップ麺やスープを作り、おにぎりやお惣菜を美味しくいただいた。お惣菜が皿一杯に盛られ、これだけでもお腹がいっぱいになる量である。昼食が済んだら下山開始し、往路を戻って下って行く。十分休憩を取ったのでU竹さんも元気になり、快調に下って行く。下りは余裕があるようで、花を楽しみながら皆さんの会話が弾んでいた。アズマシャクナゲが綺麗だった場所では、皆さん立ち止まって満開のシャクナゲの花を楽しんだ。登りでは横目で見ながら通過したが、良く見ると満開の花が何本も見られとても綺麗だった。鞍部まで下り、ここから山王帽子山への登山道が一番きつと感じた。疲れた足に急な登山道がきつく、気温も高くなりようやく山頂にたどり着いた。山頂で最後の休憩を取り、日影で涼を取りながら水分を補給する。休憩を取ると皆さん元気になり、一気に下って登山口に無事下山した。車に戻ったら靴を履き替え、光徳牧場入口のトイレに寄る。アイスコーヒーやソフトクリームを食べたいという要望があり、途中のファミリーマートに寄り冷たいものをいただき火照った体を冷やす。この先から日光宇都宮道路に入り、東北道に戻って予定より早く栃木市運動公園へ帰着した。

梅雨の晴れ間に登ることが出来、夏山に向けての良いトレーニング山行となった。